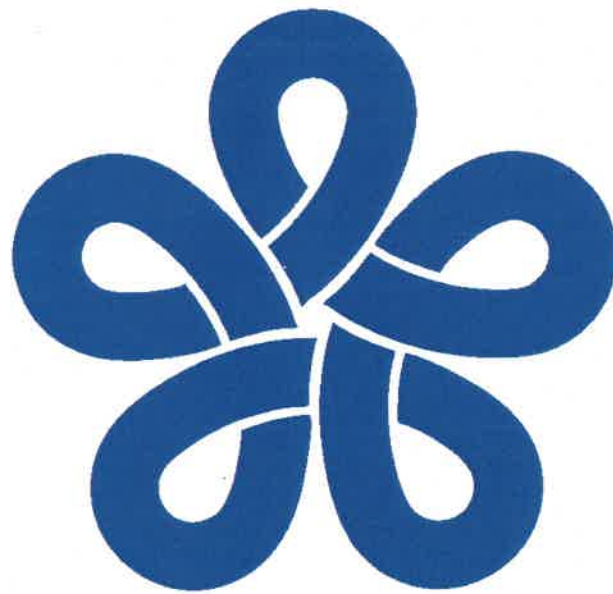


令和5年度

福岡県議会 大韓民国
慶尚南道議会友好訪問団 報告書



令和6年2月22日～2月24日

福岡県議会

1 期 間

令和6年2月22日（木） ～ 2月24日（土）

2 参加者

香原 勝司 福岡県議会議長

藏内 勇夫 九州の自立を考える会会長

松尾 統章 自由民主党福岡県議団会長

渡辺 美穂 民主県政県議団会長代理

梶島 徳博 新政会福岡県議団会長

その他参加議員 8名

福岡県議会国際交流コーディネーター

（随員職員）議会事務局次長 ほかに2名

3 日程表

別紙のとおり

4 訪問・視察先

① 韓日親善協会中央会 表敬訪問

② 慶尚南道議会 表敬訪問

③ ITTF世界卓球選手権釜山大会視察

(1) 韓日親善協会中央会表敬

行事概要

日 時：令和6年2月23日（木）10：30～

場 所：韓日親善協会中央会

応対者：柳興洙（ユ・フンス）会長

金泰煥（キム・テファン）理事長

沈允肇（シム・ユンジョ）副会長

金賢明（キム・ヒョンミョン）幹事

高漢碩（コ・ハンソク）理事

裴泰洙（ペ・テス）元副会長

玉経根（オク・キョンクン）事務局長

団体概要

設 立：1977 年

設立目的：韓日基本条約の精神に基づき、両国の人々の交流を通じて友好を促進している。相互理解と協力を促進することで、両国の平和と繁栄に貢献することを目指している。

設立の経緯：1975 年に設立された日韓・韓日議員連盟は、両国国民間の理解と協力の促進および友好増進のため、「草の根の民間外交窓口」が切実に必要であるという認識のもと、日韓・韓日親善協会を結成することに合意し、1976 年に日本全国に 47 の都道府県親善協会と 1 つの中央会を結成し、韓国内では、1977 年 11 月 22 日の中央会設立を皮切りに、特別市、広域市、各道の商工会議所に地方親善協会を結成し、市・道商工会議所の会長が地方親善協会の会長を兼任するようにした。

1986 年 7 月、外交通商部より社団法人設立の許可（第 188 号）を受けた。

基本的な活動方針：

- ① 日韓両国の親善協会を中核として民間交流を拡大・強化し、政府の外交政策を側面から支援する
- ② 地域間および職能団体間の姉妹提携の拡大推進および交流の活性化を通じ、相互協力体制を構築する
- ③ 日韓両国間の青少年交流、文化・スポーツ交流の拡大推進により、未来志向的な両国関係を構築する親善協会を通じた民間レベルの協力体制の強化により、日韓両国の経済協力基盤を造成・拡大する
- ④ 日本国内の各種親善協会および友好団体の訪韓団を招致し、安保施設、工業施設、歴史関連施設の見学を斡旋することで、日本国民に正しい韓国観を確立させる

(参考：韓日親善協会中央会 HP より)

略歴

①柳興洙（ユ・フンス）会長

- ・前 駐日本大韓民国特命全権大使
- ・前 国会議員（4選）
- ・前 韓日議員連盟 幹事長
- ・前 治安本部長
- ・前 忠清南道知事

(参考：韓日親善協会中央会 HP より)

【報告事項】

まず、韓日親善協会中央会のユ・フンス会長は、近年の日韓関係が良好な状態にあることを評価するとともに、その背景として福岡県議会友好訪問団による長年にわたる継続的な交流活動の意義を強調した。

特に、国同士の関係が必ずしも良好ではなかった時期においても、地方議会や民間レベルでの交流が途切れることなく続けられてきたことが、現在の日韓関係の改善を支える重要な基盤となったとの認識を示した。これは、中央政府間の外交に加え、地域間交流や人的交流が両国関係の維持・発展に大きな役割を果たしていることを示す発言である。

これに対し、福岡県議会の香原勝司議長は、これまで築いてきた友好交流協定の精神を継承し、今後も継続的かつ長期的な交流を発展させていく考えを表明した。また、単なる親善交流にとどまらず、福岡県が推進するワンヘルスの取組を紹介し、韓国側の理解と協力を求めた。さらに、大田（テジョン）で開催予定のアジア獣医師会連合（FAVA）大会に言及することで、日韓交流を保健・医療・環境分野における新たな協力の可能性を示した。

さらに、ユ・フンス会長は、尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領の訪日を契機として韓日関係がさらに発展することへの期待を表明した。これは、地方間交流によって培われた信頼関係を基盤として、国家レベルでの政治・外交関係の安定化と発展につなげたいとの考えを示すものであった。

【所見】

韓日親善協会中央会との会談では、日韓関係が必ずしも良好ではなかった時期においても、福岡県議会と韓国側との交流が継続されてきたことが高く評価された。

特に、国家間関係が政治情勢によって変動する中でも、地方自治体や議会、民間団体による交流が途切れなかったことが、現在の日韓関係改善の土台となっているとの認識が共有された点は重要である。近年の日韓関係は改善傾向にあるが、その背景には長年にわたり積み重ねられてきた地域レベルの信頼関係が存在しており、今回の訪問はその意義を改めて確認する機会となった。地方交流が国家間外交を補完し、将来的な友好関係の安定化に寄与していることを強く実感した。

また、従来の日韓交流は文化・観光・人的交流が中心であったが、今回の会談では福岡県が推進するワンヘルスの取組やアジア獣医師会連合（FAVA）大会への言及があり、保健・医療・環境分野を含む新たな政策連携の可能性が示された。

感染症対策や環境保全など国境を越えた課題への対応が求められる中、地方自治体同士が政策レベルで協力する意義は今後ますます高まるものと考えられる。単なる友好交流から、具体的な政策課題を共有しながら連携を深める段階へ移行しつつあることを感じた。



柳興洙（ユ・フンス）会長 挨拶



意見交換の様子



柳興洙（ユ・フンス）会長への記念品贈呈



韓日親善協会中央会の皆様と記念撮影

(2) 慶尚南道議会 表敬訪問

行事概要

日 時：令和6年2月23日（金）16：00～

場 所：慶尚南道議会

応対者：金鎮富（キム・ジンブ）議長

金鎮富（キム・ジンブ）議長略歴

氏 名：金鎮富（キム・ジンブ）

政党：国民の力

地域区：晋州 第5選挙区



経歴：

- （前）第1代 晋陽郡議会 議員
- （前）第3代 晋州市議会 議員（後半期 経済建設委員会 委員長）
- （前）第4代 晋州市議会 議員（前半期 副議長，後半期 議長）
- （前）第8代 慶尚南道議会 議長（予算決算特別委員会 委員長）
- （前）第10代 慶尚南道議会 議員（後半期 建設消防委員会 委員長）
- （前）第10代 慶尚南道議会 南部内陸鉄道特別委員会 委員長
- （前）第11代 慶尚南道議会 議員（前半期 副議長）
- （現）第12代 慶尚南道議会 議長（前半期）

（参考：慶尚南道議会 HP より）

【報告事項】

まず、キム・ジンブ議長は、これまでの交流実績を評価した上で、今回の訪問を契機として交流分野を拡大し、両地域の協力関係を一層深化させたいとの期待を示した。また、友好交流の継続と将来に向けた発展を重視する考えを示し、慶尚南道議会として交流促進に積極的に取り組む姿勢を表明した。

次に、キム・ジンブ議長は、慶尚南道の人口規模や財政力、豊かな観光資源などの地域特性を紹介するとともに、福岡県との地理的近接性や発展過程における共通点を強調した。その上で、こうした地域特性を基盤として、経済・文化をはじめとする幅広い分野における交流・協力を拡大していきたいとの考えを示した。

これに対し、香原勝司議長は、友好交流協定締結以来の交流の歩みを振り返るとともに、コロナ禍を経て約4～5年ぶりとなる本格的な交流再開を、新たな友好関係構築の契機として位置付けた。また、今回の訪問が慶尚南道議会への表敬訪問に加え、世界卓球選手権大会の誘致活動や韓国側関係者との意見交換など、多面的な交流・連携の機会となっていることを紹介した。さらに、アジア獣医師会連合大会への参加や今後の相互訪問への意欲を示し、継続的な人的交流を通じて信頼関係の強化を図っていく考えを表明した。

【所見】

慶尚南道議会との会談では、2012年の友好交流協定締結以来の交流実績を基に、コロナ禍で停滞していた交流を本格的に再開することへの強い意欲が双方から示された。福岡県と慶尚南道は地理的に近接し、産業構造や地域発展の面でも共通点が多いことから、経済・文化・観光・スポーツなど幅広い分野での連携が期待される。また、継続的な相互訪問を通じて人的ネットワークを強化し、実務レベルでの協力へ発展させていこうとする姿勢が確認されたことは大きな成果であった。

今後は議会間交流だけでなく、行政、経済界、教育機関など多様な主体を巻き込んだ交流へと発展させることで、より実効性のある地域間連携につながるものとする。



表敬訪問会場



質疑・意見交換の様子



金鎮富（キム・ジンブ）議長への記念品贈呈

(3) ITTF世界卓球選手権釜山大会視察

行事概要

日 時：令和6年2月24日（土）12：40～

場 所：釜山（ベクスコ・コンベンションセンター）

出場選手：

<男子日本>

張本 智和（智和企画）、戸上 隼輔（明治大学）

篠塚 大登（愛知工業大学）、田中 佑汰（個人）

松島 輝空（木下グループ）

<女子日本>

早田 ひな（日本生命）、平野 美宇（木下グループ）

伊藤 美誠（スターツ）、張本 美和（木下グループ）

木原 美悠（木下グループ）

試合日程：

2月16日（金）グループリーグ 男女第1戦

2月17日（土）グループリーグ 男女第2戦

2月18日（日）グループリーグ 男女第3戦

2月19日（月）グループリーグ 男女第4戦

2月20日（火）グループリーグ 男女第5戦

2月21日（水）決勝トーナメント 男女1回戦、男女2回戦

2月22日（木）決勝トーナメント 男女準々決勝

2月23日（金）決勝トーナメント 男子準々決勝、女子準決勝

2月24日（土）決勝トーナメント 男子準決勝、女子決勝

2月25日（日）決勝トーナメント 男子決勝

※ベスト8進出チームはパリオリンピックの団体戦出場枠を獲得

【報告事項】

今回の視察は、世界卓球の誘致を目的として実施したものであり、来場者の入場方法や会場入場口の配置、入場時における交通整理・誘導體制を確認するとともに、会場内の観客席の組み立て方法やレイアウト、来場者数や観客の動線について調査を行った。

特に、多数の来場者を安全かつ円滑に受け入れるための導線計画や警備体制、混雑緩和に向けた運営手法、緊急時の避難経路の確保など、安全面に配慮した会場運営の状況を重点的に確認した。

また、大型モニターや映像設備の配置状況、競技エリアと観客席との距離感、会場全体の演出手法についても視察し、大規模国際大会の運営実態を把握した。

これらの視察を通じて、大会運営における安全対策や観客サービスの在り方について有益な知見を得ることができ、今後の世界卓球誘致に向けた会場計画及び運営体制の検討に資する機会となった。

併せて、同訪問団は、本大会を世界卓球の誘致に向けた絶好の機会と捉え、国際卓球連盟（ITTF）をはじめとする大会関係者に対し、WTT ファイナルズ福岡（2025 年）など本県における国際スポーツ大会の開催実績や運営ノウハウを紹介した。また、充実した交通アクセスや宿泊施設、大規模イベントの受入れ実績に加え、安全かつ円滑な大会運営を支える体制など、本県の高い開催能力とポテンシャルについて積極的に情報発信を行った。これにより、世界卓球の開催地としての福岡県の魅力や優位性を広くアピールし、今後の誘致活動の推進につながる有意義なものとなった。

【所見】

ITTF 世界卓球選手権釜山大会の視察では、大規模国際スポーツイベントの運営実態を詳細に確認することができた。

特に、観客動線、安全対策、警備体制、混雑緩和策、会場演出などの運営ノウハウは、将来的な世界卓球選手権大会の誘致や運営を検討する上で極めて有益な知見となった。

また、国際卓球連盟（ITTF）関係者に対し、WTT ファイナルズ福岡の開催実績や福岡県の交通アクセス、宿泊環境、大規模イベント運営能力を積極的に PR

できたことは、福岡県の開催地としての魅力を国際的に発信する好機となった。視察にとどまらず、誘致活動としても一定の成果を上げたものと評価できる。



I T T F 世界卓球選手権釜山大会 会場内の様子



I T T F 世界卓球選手権釜山大会 会場前

◆訪問団長コメント

まずは、韓日親善協会中央会への訪問では、国レベルの関係が厳しい局面においても、福岡県議会をはじめとする地方間交流が継続されてきたことが、現在の日韓関係を支える重要な基盤となっているとの認識を共有した。

今後は、長年培ってきた信頼関係を基に、ワンヘルスや獣医学分野など新たな課題への協力を拡大し、交流をさらに発展させていく必要性を強く感じました。

つぎに、慶尚南道議会への訪問では、2012年の友好交流協定締結以来築いてきた信頼関係を改めて確認するとともに、コロナ禍で停滞していた交流の再活性化に向けた強い意欲を共有することができました。併せて、ワンヘルス推進に関する覚書（MOU）の内容について具体的な協議を行い、次回の締結に向けて双方が連携して取り組む方向性を確認するなど、今後の交流発展につながる大きな成果を得ることができました。福岡県と慶尚南道は地理的な近接性に加え、人口減少や地域活性化など共通の課題を抱えており、今後も人的交流を深めながら、経済、文化、スポーツなど幅広い分野で連携を深化させていくことが重要であると認識しました。

さらに、ITTF 世界卓球選手権釜山大会の視察では、大規模国際大会における運営体制、安全対策、観客対応、会場運営などについて実践的な知見を得ることができました。これらの経験は、今後の世界卓球選手権をはじめとする国際大会の誘致・開催に向けて有益な参考となりました。

また、福岡県の交通アクセスや宿泊環境、イベント受入れ能力などの強みを大会関係者に発信できたことも、誘致活動の観点から大きな成果でありました。今回の訪問を通じて、対面による「顔の見える交流」の継続が相互理解と信頼醸成につながり、ひいては地域から日韓関係を支える大きな力となることを改めて実感しました。今後も福岡県と韓国慶尚南道との友好交流を一層推進し、未来志向の協力関係の構築に努めていきます。

◆参加議員コメント

今回の慶尚南道議会訪問は5年ぶりの実施となったが、地方レベルで継続してきた日韓交流の意義と成果を改めて確認するとともに、今後の連携強化に向けた具体的な方向性を共有することができ、大変有意義な訪問となりました。

また、世界卓球大会の誘致についても一定の手応えを得ることができ、誘致実現に向けた大きな弾みとなる成果を上げることができました。今後は、これまで築いてきた信頼関係を基盤として、議会・自治体間の相互訪問や人的交流を継続するとともに、経済、文化、スポーツ、ワンヘルスなど幅広い分野における実務的な協力を一層推進していくことが重要であります。持続的な地域間連携の実現に向け、関係機関との連携を深めながら、具体的な取組を着実に推進していきます。

福岡県議会 大韓民国 慶尚南道議会 友好訪問団 日程

【令和6年2月22日(木)～2月24日(土)】

令和6年2月22日(木)~2月24日(土)

月日	時刻	視察先等	交通手段
2月22日(木)	13:30	福岡空港 集合	
	発 15:20	福岡空港	航空機
	着 16:45	仁川国際空港	
	発 17:45		専用車
	着 19:15	夕食	
2月23日(金)	発 10:00	宿舎発	専用車
	着 10:30	【韓日親善協会中央会表敬】	
	発 11:20		
	着 11:40	ソウル駅	専用車
	発 12:47	(移動中車内で昼食)	KTX
	着 15:36	昌原中央駅	
	発 15:50		専用車
	着 16:00	【慶尚南道議会表敬】	
	発 17:00		
着 19:00	夕食	専用車	
2月24日(土)	発 11:00	宿舎発	専用車
	着 11:30	昼食	
	発 12:15		
	着 12:40	【ITTF世界卓球選手権大会視察】	
	発 15:00		
	着 16:00	金海国際空港	航空機
	発 18:00	福岡空港	
着 18:50			

